

れいわがねんど さかいししょうがいしゃせさくすいしんきょうぎかいししょうがいじしえんせんもんぶかい がいよう
 令和元年度 堺市障害者施策推進協議会障害児支援専門部会 概要

じむきょく こ こたていか
 事務局：子ども家庭課

1. 第1回開催

れいわがねん がつ にち ごごじ じぶん
 令和元年7月30日（火） 午後2時00分～4時30分

さかいしやくしよほんかん ちか かい ちか かいぎしつ
 堺市役所 本館 地下1階 地下会議室A

議題

(1) ロードマップについて…別紙1「令和元年度障害児支援専門部会ロードマップ」参照

- 重点検討項目について。昨年度委員より重点項目への反映を要望されていた、「15行動障害のある児童への支援体制の構築」について、今年度の重点検討項目へ反映した。それに加え「22 虐待、ひとり親等の要支援家庭への支援」についても重点項目へ追加した。

(2) 就学前施設等の状況について

① 就学前施設、通所教室等の通所状況

- 就学前の各機関の通所状況についての説明による状況の共有。

② 就学前障害児の実態把握について…別紙2「平成30年度就学前障害児の実態」参照

- 平成30年度に実施した実態把握の集計結果の報告と令和元年度調査案の提示
- 施設等通所児の状況（表7～10）では、全体数としては1,466名で、前年度より93名増加しており、理由として“施設内で支援が必要と思われる児童”も調査対象であることとを改めて周知したことが考えられる。
- 委員より、障害児を預かる保育所の数が増えることは良いことだが、そこに通う子どもの療育を今後どのようにしていくのが大事であるとの意見があった。

(3) 特別支援教育の状況及び取組みについて

- 本市の障害のある児童・生徒の状況について報告。市内の児童・生徒数は減少して

いるが、支援学級在籍児童生徒は増加。在籍児童生徒数は昨年度より約200名増加している。

- ・障害種別の内訳としては、小・中学校とも自閉症・情緒障害が約半数を占め、発達障害群の診断名がある児童生徒も多数含まれている。
- ・医療的ケアが必要な児童生徒は、堺市内で5名。導尿、気管切開等、5名の児童生徒に対して看護師派遣を行っている。その他、支援学校のセンター的機能の活用、発達障害児等専門家派遣、発達障害理解研究などの取組みを行っている。

2. 第2回開催

令和元年10月31日（火）午後2時～4時30分

堺市役所 本館地下1階 地下会議室B

議題

(1) 施策目標の進捗状況について

- ・施策目標について、現状と達成状況、今後の方向性について報告…別紙3参照
- ・施策目標「15 行動障害のある児童への支援体制の構築」について、行動障害の判定についてや、強度行動障害について医療・福祉・教育と違う立場の人が知恵を出し合っていることが必要であるとの意見があった。
- ・施策目標「22 虐待、ひとり親等の要支援家庭への支援」について、堺市における児童虐待に関する状況を報告。委員より、放課後等デイサービスの役割について（現状、養護的な役割を担っている）の課題があるとの意見があった。

(2) その他

- ・委員より、百舌鳥支援学校の運動場についての要望があった。